

県内で初めてお目に掛かる方から、当地に赴任する前の役職を尋ねられる機会が少なくない。その際、「上席審査役です」と答えるのだが、業務内容をイメージしていただけない場合が多い。そこでTVドラマの『半沢直樹』で、片岡愛之助さんが演じた金融庁の主任検査官のような仕事です」と説明すると、何となく分かっていた。一般にはあまり知られていないが、日銀は、金融庁の検査同様、金融機関に立ち入り、収益力やリスク管理の状況を検証する審査という業務を担っている。前置きが長くなったが、その審査において、多くの地域金融機関のトップと議論を重ねてきた。本的には、人口や企業の減少を背景とした地方経済の先細り懸念から、資金需要が伸び悩んでいるといった構造要因を指摘できる。地域金融機関は、地元密着でビジネスを展開する以上、構造要因を指摘できる。地域金融機関は、地元密着でビジネスを展開する以上、

**展望台**

**地域金融機関が目指すべき経営とは？**

長江 敬

論する中で痛感したのは、各行庫が非常に厳しい経営環境にあることだ。これは、低金利環境の長期化に伴い、預貸業務での収益確保が難しくなっていることが一因だ。もっとも、より根が模索して行くものだが、

いずれにしても、地元で求められる金融機能を果たすためには、最低限確保すべき収益水準を十分に見極めることが必要だ。その水準次第で、展開する戦略は必ず異なるはずである。同時に、経営として打ち出した方向に、組織全体が機動的かつ柔軟に動く態勢を整えることも求められよう。

当地でも、地域経済の活性化に向けて地域金融機関の果たす役割は極めて大きい。今後とも地元各行庫が打ち出す経営戦略に注目していきたい。

(日銀甲府支店長)